

第 43 回横須賀市社会福祉審議会（全体会） 議事要旨

1 開催日時

令和 3 年（2021 年）11 月 4 日（木） 午後 2 時から午後 2 時 30 分まで

2 開催場所

横須賀市役所 消防庁舎 4 階 災害対策本部室

3 出席者

（委員）

<民生委員審査専門分科会>

安部委員、菊池委員、佐野委員、鈴木（立）委員、玉泉委員、角井委員

<福祉専門分科会>

石田委員、石塚委員、岩澤委員、上田委員、白井委員、橋本委員、増田委員、
松尾委員

<障害福祉専門分科会>

市川委員、大川委員、海原委員、加藤委員、五本木委員、立石委員、松谷委員、
三屋委員、山邊委員

<高齢福祉専門分科会>

稲葉委員、小池委員、鈴木（栄）委員、西村委員、沼田委員、原委員、松本委員

以上 30 人

（分科会別 50 音順）

（事務局）

平澤民生局長

植野福祉部長

杉山福祉総務課長、藤崎地域福祉課長、青木健康長寿課長、椿介護保険課長

福祉総務課 白石係長、矢野

地域福祉課 田中係長

障害福祉課 網代係長

高齢福祉課 中島係長

介護保険課 小西係長

4 当日資料

- 1 横須賀市地域福祉計画の中間見直しに係る検討結果について

5 議事要旨

(1) 開会

事務局（福祉総務課長）が司会となり開会した。

(2) 定足報告等

定数 36 人中、30 人の出席があり、社会福祉審議会条例（以下、条例）第 4 条第 4 項により会議が成立している旨を報告した。また、傍聴者は 4 人と報告した。

(3) 新委員紹介及び職務代理者の氏名

竹岡委員の退任に伴って就任した角井委員、
澄川委員の退任に伴って就任した上田委員、
八木委員の退任に伴って就任した増田委員、
小澤委員の退任に伴って就任した大川委員、
三瓶委員の退任に伴って就任した加藤委員、
遠藤委員の退任に伴って就任した三屋委員、
小山委員の退任に伴って就任した稲葉委員、
千場委員の退任に伴って就任した沼田委員、計 8 名の紹介を行った。

また、遠藤委員の退任に伴い、三屋委員が委員長職務代理者として指名された。

(4) 民生局長あいさつ

平澤民生局長から、就任のあいさつを行った。

(5) 議事

委員長（松谷委員）が議事の進行を行い、下記の 1 件について報告した。

地域福祉計画の中間見直しについて

福祉分科会長職務代理者（松尾委員）が、分科会における審議の結果、地域福祉計画の見直し行わないこととなった旨を報告した。

その後、地域福祉課 田中係長が資料 1 に基づいて検討結果の詳細を説明した。
委員からは、次のような質問があった。

質問 1（西村委員）

成年後見制度の利用促進については、どのような議論があったのか。

また、利用促進にかかる評価指標はあるのか。

回答 1（地域福祉課）

中間見直しの検討においては、成年後見制度利用促進にかかる特段の議論はなかったが、計画に記載している方向性で進めるとともに、市民へ向けた制度の周知を引き続き行っていく。

評価指標は特に設けていない。

質問 2 (海原委員)

重層的支援について、どのような議論があったのか。

また、地域福祉計画だけでなく、障害福祉計画等の他の計画と連携して重層的支援に取り組むといったことは考えているのか。

回答 2 (地域福祉課)

中間見直しの検討においては、重層的支援にかかる特段の議論はなかった。

重層的支援については、市でも検討しているところだが、「ほっとかん(地域福祉課)」の窓口では、総合相談、家族支援に加え、基幹相談支援センターを設置するなど様々な担当が連携しており、相談支援の充実を図っているところである。

質問 3 (立石委員)

計画に記載されている「こころのバリアフリー」について、具体的にどのような啓蒙・啓発活動を行っていくのか。

回答 3 (地域福祉課)

学校や地域での福祉教育の実施、外国人に対する多言語での情報提供や日本語講座の実施、LGBTsなどの性的マイノリティに関する相談や講座の実施、手話通訳者や要約筆記者の養成等を行っていく。

(6) 閉 会

進行を福祉総務課長に戻し、閉会となった。

以上

※ この議事録は、事務局において要点記録したものです。